



ぐんぐん すくすく！相生っ子！

住所 相生市緑ヶ丘4丁目5-5
電話 0791-23-5070
FAX 0791-22-7211
E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp



オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン



こども家庭庁では、毎年11月に家庭や学校や、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する理解を得ることができるよう、児童虐待防止のための広報・啓発活動に集中的に取り組んでいる。

どこからが『児童虐待』で、どこまでが『しつけ』なのか？

「しつけ」と「児童虐待」の境界線がはっきりしないという問題がしばしば出てきます。
「しつけ」のつもりで行った行為が「児童虐待」であったという例も少なくありません。これは「児童虐待」の定義だけでなく、「しつけ」との明確な違いを理解していないために起こります。
「しつけ」と「児童虐待」の明確な違いは、それを行う側の感情にあります。

児童虐待



子どもの行動を、感情的に力によってコントロールしようとする事

しつけ



子どもが感情や行動を、自分でコントロールできるように導くこと

どれだけ子どものことを思っていると主張しても、子どもの心や体を傷付ける教え方はしつけとは言えません。子どもが自分で社会生活を送れるように導くことがしつけです。感情のまま子どもを責めるのではなく、まずは自分自身の感情をコントロールして、子どもを諭すことや褒めること、ときには感謝を伝えることがしつけであると言われています。

児童虐待の種類

身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待
・殴る ・蹴る ・投げ飛ばす ・やけど ・骨折をさせる ・など ・溺れさせる ・異物を飲ませる ・外へ締め出す ・など	・食べ物や飲み物を与えない ・不衛生なままにする ・重病になっても医師に見せない ・車に放置する ・など	・年長者の性器を見せる、触らせる ・子どもの性器を触る ・子どもの裸の写真を撮る ・など	・「産まなければ良かった」 ・「ダメな子」 ・子どもの目の前で夫婦喧嘩をする ・など

「良い」だけの子も「悪い」だけの子もない 「なぜか知られない生徒指導」(前 哲央著 東洋館出版社)より抜粋

生徒に人気のある先生の条件として、かなり上位に来るのは、「先生は私のことをきちんと分かってくれる人」というものでしょう。大人もそうですが、**子どもは特に、誤解されることを嫌がります。**悪いことをしていないのに悪い子だと思われるのを極端に嫌がるし、彼らの「悪い子と思われたらどうしよう」という不安な気持ちもよく分かります。

分かってくれる先生かどうかは、簡単に言うと「良いことは褒めて悪いことは叱る」ということができる先生の事です。

「生徒たちはみんないい子です」と言う方がいます。「悪い子なんかどこにもいません」とも言われます。でも、それは真実ではない気がしています。悪い子がいるというよりは、正確には、悪いことを全くしない子はいないからです。

また、普段はいい子だけど、今この瞬間に悪い子になっているということは往々にあるでしょう。極悪人だと言っているのではなく、悪いことしかしない子というわけでもない。悪い面しかない生徒でもない。**みんな良い面と悪い面を持っているし、その比率やそれが出る状況が違うだけの事なのです。**

みんな(私もあなたも)悪い面を持っているし、その悪い所を「少しずつ改善していこうね」と言って良い方に導いていくのが教師だと思うのです。悪い所は、心を鬼にして「ダメです」と言わなければならない時もあります。悪いことをしている生徒に「いいよ、いいよ」「あなたはいい子」という態度で接していたら、本人も含め、生徒たちからみんなから「あの先生はダメだ」「何もわかっていない」と感じるでしょう。

大きな声のあいさつと返事 学校はこの二つで全てが変わる

カリスマ校長と呼ばれた男
大畑 誠也

校長として赴任した数々の学校で、生徒数の増加や学力向上、部活動の成績向上といった成果を挙げてきた大畑さん。そこには、あいさつや返事を大切にすることで人間関係が育まれ、学校全体が変わるという揺るぎない信念がありました。

私が最初に校長として赴任したのは熊本県立天草東高校でした。

天草東高校に行きましたら、朝、私が生徒に「おはようございます」と言っても、「おはようございます」と言わないのです。「これは学力の向上や大学進学、部活動などの問題を論じる前に、まず『人間』をつくらなきゃいけない」と思いました。

4月8日、始業式を迎えました。全校生徒が集まっています。フーワーと私語が収まりません。普通は教頭先生が「ただ今より始業式を始めます」と言うので静かになるのですが、その学校ではおしゃべりが止まらないのです。

教頭は「校長先生、もう始めましょう。生徒が喋るのはしょうがないです」と言った後、「ただ今より始業式を始めます。学校長あいさつ」と言いました。

「えっ？」と思いました。「この状態で話すのか。話してもおそらく誰も聞かないだろう」と思いました。

私は「おはようございます！」と腹の底からとてつもなく大きな声を出しました。すると全員がこちらを見ました。

そこでこう言いました。「いか、俺は長く喋らん。ちゃんと聞いとけ。今から目標を言う。一つ、大きな声であいさつをする。一つ、大きな声で返事をする。一つ、大きな声で校歌を歌う。一つ、一日一回図書館に行く。分かったか！」

すると「分からん」という声が聞こえてきました。だからもう一度繰り返ししました。そして「分かったか！」と言いました。それでも返事がありませんでした。

私は壇上を降りて一人の生徒に「いいか！」と言いました。すると「はい」と返事しました。

した。これを176名全員にやりました。そして最後に「いいかみんな、これでいくぞ！」と言うと、「はい！」と返事がありました。

あいさつは人間関係を作ります。その時に一番大切なことは心を開くことです。だから私は下に降りて行って一人ひとりと向き合ったのです。

その日、家に帰って「お父さん、天草東高校は変わるばい。元気のいい校長先生が来られた。校長あいさつが短かった。これは変わるばい」と親に話した生徒がいたそうです。



私が徹底して「あいさつ」「返事」をさせ、「校歌」を歌わせた結果、天草東高校は地域に認められる高校になっていきました。

どういふことかという、登下校の際、生徒が「おはようございます！」「こんにちは！」と地域の人にあいさつを始めたんです。

そしたら、「あら、東高の生徒があいさつした。次の子も……どきやんしたとね？」「今、大畑と言う元気のいい校長先生が来て、あいさつを徹底させてい

るらしい」とうわさがたちました。

それで、子どもを持つ親たちが「あの高校にやったらよか」と言い始めました。

毎年減少していた生徒数は、翌年には176人から184人、3年目には215人と増えていきました。



(日本講演新聞ジュニア
2025年9月号)

【おはた・せいや】熊本大学法学部卒業。平成7年県立天草東高校校長に就任。在任3年の間、廃校寸前だった学校の生徒数を倍増に導き、カリスマ校長とよばれた。菊池高校、熊本商業高校、八代高校、第一高等学校、盲学校の各校長を経て、九州ルーテル学院大学客員教授に就任。平成30年同大学退職。